

村づくり懇談会の記録

日時：11月22日18時30分～19時30分

場所：農業者トレーニングセンター2階大ホール

山形村参加：本庄村長、赤羽副村長、根橋教育長

篠原総務課長、中川住民課長、堤企画振興課長（司会）

※個人名、個人名等が特定できるような発言や、言い回しについては必要に応じて、修正・削除しています。

<表示について>

参加者・・・懇談会参加者の発言

村長・・・村長の発言

教育長・・・教育長の発言

司会・・・司会者の発言

中川課長・・・中川住民課長の発言

<村長一言、参加者自己紹介>

省略

<懇談会>

司会

それでは懇談会を始めさせていただきたいと思います。

ご意見等ある皆さまお手数ですが挙手でご発言をお願いしたいと思います。

総合計画の中にいろいろな指標等もございます。その中からでも結構ですので、何か村長に伺いたいこと等ございましたら、ご意見等をお願いします・・・。

（挙手がなかったため）村の方から皆さんにご意見いただきたいテーマをご用意してあります。夏頃に全国放送でも話題になりました1日2回の時報サイレンの関係でございます。こちらは、報道以来、いろいろな検討をしておりますがその間全国からも多くのご意見をお寄せいただいております。

また、来年の、令和6年度は開村150周年を迎えます。多くの村民の皆さんの思い出に残るようなイベント等を計画しております。150周年にあたりまして何かご要望等ありましたら、併せてお願いできればと思います。

村長

サイレンの話が出ましたが、私の方からどんなことを考えているかというのを申し上げます。またそれについてご意見ありましたらお願いいたします。

サイレンですが、現在、長野県内でも時報サイレンを鳴らすというのは非常に珍しいというのが現状であります。多くの農村部においても最近は音楽に変わったり、時報のサイレンを鳴らすのは珍しいというのが現状です。そんな背景もあるので、全国ニュースでも取り上げられたと認識をしております。サイレンについては、私のところへも何件かご意見をいただく機会もありましたが、サイレンの鳴るこの地区の方については、サイレンというのは生活の一部になっていて、中には、村の風物詩、音の風物詩、サイレンを村に住む環境の一部というふうに考える方もいるようです。また一方では、このサイレンの聞こえる、例えば（音源から）50m、100m範囲に住んでいる方にとってみると、子育てのときは大変だったとか、そういった意見も聞いています。どっちがいいっていう答えのある話じゃないものですから、ある村民の方にとってみれば迷惑、それも確かだと思います。またある村民にとってみればそれが自分の生活のリズムの一部になる、これも確かだと思います。

行政としてやっぱり考えなければいけないと思うのはそれぞれの利害が対立しているという課題があります。どんなところで折り合いをつけるのか、どういう見極めをしていき、近いうちに結論を出さなければいけない問題だとは思っております。

司会

今、村長から経過等を説明させていただきましたが、ご意見等ございますでしょうか？
ありがとうございます。

参加者

意見というか、今日も畑に居たんですが、やっぱりサイレンが鳴ると、もうこんな時間か、もうちょっと頑張ろうかなということで、生活のリズムになっています。

私の記憶だと、役場の「ポー」が鳴ったと小さい頃は言っていました。役場の「ポー」が鳴ったらお昼だから帰ろうかと生活のリズムになっていました。これは村長が言った通り村の風物詩でもありますので、それがどうこうっていうことはないんですけど、何かを知らせるっていうことをなくしてはいけなかなと思います。

反対というか、迷惑だというような、そういう人はどういう年代でどういうところに住んでる人が迷惑かってことはまだ聞いていません。ですから、例えばこの近所だとか引っ越しをしてきた方だとか、多分そうだとは思うんですけども、ある程度離れるとその音ってそんなに気にはならないのでちょうどいい音量で聞こえてきます。

3日ぐらい前に新聞の「声のチカラ」というコーナーに長野市の女性の名前で投書がありました。皆さんも見たと思うんですけども、多分その人は山形村出身だと思います。これに関して簡単に言うと、自分もその環境で育ってそれがなくなることは寂しいということで、やはり投書する人は反対の意見ではなくて賛成の立場の意見を投書しています。やはりこれはなくしてもらっては困ると思いますし、サイレンが駄目ならあるいはサイレンでもいいなら時間をもう少し短くするかそれに代わる違う音色。お昼の時は『ふるさと』を流してますよね？あんな感じなら嫌では無いと思います。できれば続ける感じで前向きに検討していただければいいかなと思います。残して欲しいと思う。お願いします。

村長

今は情報やニュースがありますと、ネットですぐ反応があります。今回のサイレンの件については、ヤフーニュースでも扱われたので、全国から書き込みっていうんですかね、それが何百通もきています。私はあまりネットに詳しくないですが、ちょっと見ると、傾向としては世論の動きというものがちょうどあったと思いますが、一部の声に負けてはいけないという、行政頑張れって言うのも変な話ですが、そういう書き込みが圧倒的に比重が重く、行政を励ましてもらっているっていう面もあります。その反面非常に怖いことも感じました。今、参加者さんの言われた頑張れ残すべきだという人の比重が多かったようには感じる。

そうは言っても、少数ではあってもそれを苦痛に感じている人もいるということもまた事実です。その辺は数が多いから正しいというのとも違うとは思いますが、十分納得をしていただけるように、もし続けることになれば、ある程度それを説明しながら理解をしていただき、進めていくということだと考えております。

司会

ありがとうございます。

他にご質問等ありましたらぜひご発言をお願いいたします。

参加者

〇〇と申します。

農業をやっているんですけども、今回のアイシティの南側の工業団地を作るところでたくさん畑を貸していただいています。私は県外から来て農業をやっているんですけども、この山形村の景色だとか空気だとか水が大好きで大変気に入って、もう永住しようかと思って住んでいます。でも、そんなところにわざわざ来たんですけども、大好きなこの山形村に、自分が耕作している畑に工業団地ができるということで非常に残念に思っているところです。

それで村長にお聞きしたいです。今後もこのような開発をしていくのか、とつても優良な農地、みんなが使いたくなるようなそういう農地にわざわざ企業誘致する、空いている場所じゃなくて、そういう人気のある農地に工業団地を作る。こういう開発を今後もしていくのかなと、ちょっと教えていただきたいです。

村長

村がこれから進めようとしている企業誘致、なぜ村が企業誘致を今回進めているのかでありますけれども。山形村の現在の状況というのは、松本の臨空工業団地に接しております、山形村は都市計画を入れてないものですから、規則なく開発が進むと農地が虫食いというんでしょうかね、そういうふうにならざるを得ない傾向があります。企業なんかの場合ですと、非常に面積も多くなりますし、村がこの考えを持つ前に、既にいろんなところで不動産さんが実際に動いてるという話もある。

一つには土地改良事業で農地整備を行いますと、要件により8年間は転用できないという縛りが自動的につくんです。今年の3月でこの縛りが取れたので一斉に今回の農地に限らず山形村全域に、企業であつたり住宅であつたり開発をしようという動きがありました。それで何もしないということも当然できるんですけど、それよりも場所をみて、ここならいいですよって決めた方が村のためだというふうに判断をしたということ。それともう一つは、これから山形村も人口減少時代ありますので、当然、税収であつたり、これからを考えると、自主財源も減るということがやっぱり心配されるわけありますので、そんなこともあって、企業に来ていただいて、固定資産税が入ったりそういったこともありますので、少しでも財源の確保ができればというその二つの理由で企業誘致を進めております。

これからどんなふうに、どんな動きがあるかはわかりませんが、想像は簡単できないんですけども、臨空工業団地周辺については、松本市も含めた中で、流通関係を主体とした企業誘致というか企業進出というのが考えられるだろうというふうに見られてるというか、そんな予測をされる方が多いというふうに聞いております。山形村は今言うように農業というのが大きな産業でありますので、その農業というものを守らなければいけない。これも行政の大事な仕事なので今回の企業誘致のその次の段階っていうのはしばらくはないというふうに考えております。

参加者

結局、工業団地にしてしまうと、元に戻せないというか戻す必要がないかもしれないんですけど、ちょっともったいないという気持ちですね。アイシティに来る人たちも工業団地よりも、多分畑の方が喜ぶんじゃないかと思えますし、都会から来る人もね、工業団地よりは畑だとか山の景色とかを見ていった方が喜ぶんじゃないかなと思うんですけどもね。

税込とかね、そういうのも確かにわかりますけれども、平ですし、農業しやすい場所なので、そういうところではなくてやっぱり空いている畑って他にもあるので、そういう畑は今後も空いていると思いますし、そういうところに企業誘致はわかるんですけども、本当に平らで作業しやすいところなので、もったいないなという気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

村長

農業をされている立場からのご意見を伺いましたけども、ここの地区に農地を所有している農家さんの意見を何件か伺っております。やっぱりその中でも耕作放棄地が出ているんだけど、その多くは水田の場所であって、今後（耕作を）予定している場所ではないんだから、もし役立てるのだったらそっちの方が理想じゃないですかという意見だとか。農業者の立場からすると、やっぱり残念という意見も出ております。農業委員会の方と話をしても、今言うように本当は水田の何も作れなくなった場所をなにか他の転用ができればということなんですけども、やっぱり進出してくる企業さんであったり、住宅メーカーの方にお話を聞きますと、その場所はやっぱり駄目だった。本当はそこで何か活用ができるのが一番だと思っています。また課題も多くありますのでなにかもっとうまい活用の仕方があれば農業という目で考えてぜひ知恵を出して協力いただきたいと思いません。

司会

ありがとうございます。
お願いします。

参加者

今、村長からも人口がだんだん減ってきているという話があったんですが、山形村の空き家、協力隊をお願いしてやってるんですが、その空き家の進捗率やどうしているか、進捗状況をお聞きしたいのですが。

司会

空き家対策の担当は企画振興課でやっておりまして、現在の進捗を私（企画振興課長）の方からご説明させていただきます。本年度は、空き家実態調査という調査を実施しており、専門の業者にお願いして、別荘地を除く村内全ての空き家を一軒一軒情報をいただきながら調査を進めております。

現在は調査中でして概ね想定では100件以上の空き家が今山形村に存在しているのではないかとというような結果になるという中間報告をいただいております。空き家については特定空家や獣が住

んだり、倒壊の恐れがあって危険だっというような物件もこれから出てくることも想定されますので、調査結果をもとに、地権者、所有者の皆さんにアンケート等をとって、今後の活用のご相談をさせていただいたり、村で推進しております空き家バンクというものに登録していただくと、村の方で不動産業者をご紹介して、ご要望に沿った活用ができるような対応をとっております。

今年度、調査を完了しましたら具体的に村がどのように空き家対策をしていくかという計画を作るようになっております。調査結果等が出ましたら広報等でお知らせしながら活用していきたいと思っております。ご近所の空き家情報ですとか、危険な空き家等ございましたらぜひ企画振興課までご一報いただければ大変ありがたいです。今はそんな状況になっております。よろしくお願ひします。

参加者

はい、わかりました。またこれからよろしくお願ひします。

参加者

今日は、前にズラっと居るかなと思って、一応どんな意見が出るかただ後ろで聴講しているつもりで来ました。でも見れば村に関係する議員さんだとか、我々区関係者、一般の方は〇〇さんお1人なんですよね。この様子を、テレビ松本さんや市民タイムスがこのがら空きを報道している、これだけの事をやるのに企画振興課はどれだけ村民にアピールをして、どれだけの人を集めようとしてましたか？見ての通り、お1人です。

これをテレビで流されたらやっぱりみんな村のことに関心がないなと思っちゃいます。そうじゃないんだけど、いっぱいだったらやっぱり村民がこれだけちゃんとこの時間に来て、関心があるんだ次のときには私も行こうかっていう気持ちになる。これ見れば、そんなもんかとなっちゃいます。これだけのメンバー揃えて待機してるのにどれだけ力入れましたか？

司会者

ご指摘の通りだと思います。いろいろPR等はさせていただいたつもりですが、結果、このような形の参加者になってしまいました。今後、しっかりと検証しまして皆さんの意見を聞く場を設けたいと思います。

村長

今、御指摘がございました。

私は昨日、一昨日くらい前に、誰も来なかったどうするんだっというつもりで仕事をしてました。また担当課と話をしたんですが、これは言ってみれば、村の村政に対する村民の皆さんが関心

を失っちゃっているというまさにその姿だと思います。ですが、やっぱりこれが真実の姿だということ。例えばのんきすぎるっていうそういう指摘もあるかもしれませんが、やっぱり私はもうここまで関心がないっていうところはもう一度行政として、考えてみようということです。こういう姿でありますがこのからだというふうに思っています。

参加者

はい。分かりました。

司会

他、いかがでしょうか？

参加者

私はたまたま今日ホームページを見させていただいて、工業団地の件が常々頭の中にあって、それで、農業をやっているんですけども、従業員たちと工業団地は嫌だねとかっていう話をしながら、今日こんなのあるよっていうので、まだうちは仕事中なんですけど、〇〇さん、抜けて行ってきてくださいって言われて、それで今日来させていただいたんです。今の若い人たちっていうのは選挙の投票率を見ても本当に低いですし、若い従業員たちに今日は選挙だから、仕事を中断して行ってくださいと言って行かせたりとかしてもなかなか行かないところがあるので、今、堤課長がおっしゃってましたけどPRの仕方ですかね。本当に難しいなって思うんですけども、本当に寂しいなと感じるので僕も何か知恵があったら出したいと思います。そうですね、農家の人は今ちょうど長いも忙しいのかもしれないので、時期とかそういうのも考えて。

でも今日は来て良かったなと思っているので、良かったなっていうのを他の人たちに伝えたいなと思ってます。

司会

ありがとうございます。いかがでしょうか？

参加者

中（役場）を見てますと職員の離職率が大変高い気がします。それを担うのがICTしかないですけど、今ここにいる企画振興課が担当してるんでしょうか。今のまま進んでいってICTを進めつつ会計年度任用職員を増やせばいいんでしょうけど、どこまで見られるのかちょっと心配なのでお伺いしたいと思います。

村長

特に今年度に入って、何人かの職員が退職、そんなこともあって、ご心配いただいているのはその辺りだと思います。それぞれの職員にいろいろ背景があるものですから一概にどうという事はないのですが、ただ、一般論として言えるのは昔のような終身雇用制で一度入った職場にずっといるというのではなくて、やっぱり自分が思う職場とはちょっと違うとか、そういう傾向がどこでもあるというように聞いておりますし、特に国なんかでもかなりの数の職員が辞めてるっていうのが課題になるということもあるわけです。

ご心配いただいている役場という職場が働きやすくやりがいを持って仕事ができるか、もちろん給与をはじめその待遇面もあるけれど、そういったことも考えなくてはと感じています。

どうい方法がいいかっていう具体的な案はないけれども、そういったコンサルタントもあつたりだとか、いろんな立場の方にどんな解決策があるのか伺いながら決めていかないといけない重要な課題として考えています。

参加者

わかりました。でも特に専門職の場合なんかは、年度を区切ってでもそこにおいてまわりの職員の方を教育するような意味もあろうかと思えます。その辺を募集、中途採用はなかなか難しいかもしれませんが、会計年度任用職員で何年かそこにおいてまわりの職員を教育するという事も一方では考えていただきたいと思いました。

司会

ありがとうございました。

参加者

先ほど今日この人数でという話もありましたけれども、私がちょっと耳に入ってきたのは、仲間で聞いていることなんですけど、行政懇談会だとか、そこで発言しても、結局は変わらないですよ。役場や議員に言ったところで、村がどう変わるの？という意見も率直にあります。でもそれがもう無関心ということなんでしょう。私も議会もしっかり考えなきゃいけないですよ。そんなところで言ってどうなるんだろうという事ですね。

それとサイレンですけども、9月だったかな。常会で一応お話をさせていただきました、農家さんは必要だと。スマホは持ってるけど、いちいち作業中に見ないよと。となるとその音で生活のリズムにしているよと。そこで音楽にしたらどうか、もしうるさいなら種類を変えて、スピーカーを畑の中に置いてそこで流すとか、役場の周りにはあまり流さないとか工夫してみてくれるといいかなという話はありましたのでちょっと発言させていただきます。

村長

2つご意見いただきましたけども、最初のこういった機会でもそんなに変わらないということでもありますけども、村側でもこれから気を付けていかなければいけないと思います。いわゆる発言があったことに対して返すということができているかっていうことが一番の懸念だと思っています。

特に議事録をしっかりと作って、質問になっているところはその方に返していく、意見をうかがっても全てそれが解決する、こうなりますってことはないんですけども、できないならできないと。やっぱりキャッチボールができないっていうのはなんですかね、無気力感というか、行政としては本当に考えなければいけない。

サイレンの話はさきほどお話しした通りです。

参加者

フィードバックって大切で私もなんか聞かれたときは、極力返事はしようとしてるんですね。フィードバックは非常に大切なのでよろしくお願いします。

司会

ありがとうございました。

参加者

2点ほど伺いたいことがあります。まず、1点はですね、〇〇さんが申し上げた通りで、検証がされてないというのが私の率直な意見です。何か事があったときに検証をしてその結果どうなったかということがちょっと足りないかなということがあるので考えて頂きたいというところがあります。

中川課長に伺いたいんですがよろしいですか。なろう原の墓地のことなんですが、先日墓参りに行きまして見たら、犬のふん取り器の紙が袋のままいろんなところに置いてあるのがありまして、写真を撮ってきたんですけど、そのまわりにたくさんの枯れた花が置いてあるんですよ。おそらく墓参りに来た方たちが置いてたんだろうと思うんですけど、何かあれですかね、ゴミ置き場みたいなものは設置できるのですか？お願いします。

中川課長

基本的にはなろう原公園はこちら側から常時環境整備という意味では、草刈りであったりだとか、そういったことの清掃活動あるいは施設、トイレですとか、清掃というものを人をお願いしてやっておりますけども、それ以外に環境維持に関しては、利用者の皆さんにご協力いただきながらやるものだというふうに思っております。率直に言えば汚さないというのが原則で、ゴミが出れば持ち帰っていただくですとか、お供え物に関しても基本的には残さないようお願いをしているところであります。

結果的にそういった事情があるということになれば一時でもそれに対する何かしらの対応が必要かとは思いますが、それを行政で全てやってしまうというよりは、今言ったようなきれいな環境にさせていただくようお願いのメッセージを現場にするとかそういったことになろうかと思えます。基本的には重なりますけども、出たゴミは持ち帰るということになります。

村長

最初に質問ありました、いろんな事案とか、そういったものに対して検証が十分できないということでもありますけども、これは行政っていうとどうしても言い訳になってしまうんですけども、今までの行政っていうのは予算を使って、例えば箱ものだったら箱ものができて、それで一応終わりみたいなところがあって、その場所がどう活用されるかっていうところはまたちょっと二の次みたいな傾向があったと思います。今は高度成長期と違って新しいものがどんどんできる時代じゃないものすから、やっぱり一度始めた事業だったりっていうのは必ず検証して本当に必要であるとか、PDCAサイクルを回すことだと思います。これがなかなかできてないというご指摘がありましたけども、今年はワークアウトいう手法で経営コンサルの方にお願いをしたりしていろいろ事業を見直しをするとかかチェックする、訓練じゃないんですけどそれを始めており、なかなか思い通りには行っていないというのは検証されています。

大変重要なご指摘でありますので、これについてもまた来年どうしようかということも含めて、対応していきたいと思えます。

参加者

どうもありがとうございます。

今の村長の話、十分理解いたしました。それでどこの自治体か忘れてしまったんですが議会であるような一般質問がありますよね。それについてどうなったというコラムをずっと作っている自治体があるんですよ。ですから我々も聞かなくちゃいけないんですが、質問したことに対してその後どうなったかと聞いていきたいと思えました。

司会

ありがとうございました。

参加者

コロナが流行りだしてもう4年以上経ちますが、なかなか人を集めるということができなくなりました。以前、20年ぐらい前までは山形村に対しては、他市町村から元気があって、明るい村だねというふうなうらやましがられるような時代もありました。自分も確かに若い頃はトレセンに毎晩来ていましたし、朝は朝で早起き野球やったり夜はソフトボールをやったり、冬はソフトバレーをやっていた時代もありましたが、なかなか今の時代早起き野球にしても、以前は30チーム以上あり2リーグ制だった時代もありましたし、現在では3チームしかないということをお聞きをしました。あとナイターソフトもなかなかやってる姿は見た事はないし、ソフトバレーは体育館の中でやりますので、どんな状態なのかよくわかりませんが、なかなかみんなが集まっているいろんな行事をするという体制というか、個人個人の気持ちがそこまで盛り上がってこないかなというのが今の状態じゃないかなと。そんな中で、自分のちょっと関心があるというのが、公民館活動をこれから盛り上げていくのか、それとも縮小させていくのか、やっぱりどんなところにもでも個人的な教室、自分で探せばどこにでも行けるし勉強もできるし運動もできる。運動したい人はそこら辺のジムとか個人的に参加すれば済んでしまうっていう時代で、村として皆さんお出かけくださいというような呼びかけがなかなかできないのが現状かなと思います。

今年やっとじゃんずらが復活というかやってみて若い皆さんにご協力いただいて、何とか復活できたようなことで、大変嬉しいんですが、他の分野で各分館もそうですけどなかなか人集めができていないというか、人集めするのが難しいという時代なんですけど、今後どうやっていけばいいかと考えがありましたらお聞かせ願えればとおもいます。

村長

今回の館報にちょっと出てたんですけど、ソフトバレーのリーグ戦も無かったみたいなことが出ていました。公民館の関係は教育委員会ですので教育長がこの後答えますけど、私の個人的な意見を申し上げさせてもらおうとやっぱり公民館活動が本当に近隣でもうらやましがられるくらい活動力のあった時代っていうのは、その前に地区の分館に行動力があって、スポーツ大会であったり運動を独自でやったと聞いてますし、それぐらい地区の分館の活動があって、それプラス本館の活動が盛んだったという時代背景もあります。やっぱり時が過ぎてみますと、いつの頃からかは不明ですが、分館活動がだんだん衰退して行って、本館がメインになったというふうに逆転した時代っていうかそういう経過だと思います。それで今になってみて考えますと、やっぱりこれから高齢社会でありますので地域がどうあるべきかってことが一番大事なことだと思います。公民館もその地域の課題っていうところに、分館がまず目を向けていただいて、分館が何をすべきか、本館とは切り離

して各分館は何をするかそこが原点だと私は感じております。教育委員会からこの後説明させていただきます。

教育長

今、村長が言ったことで全てなんですけども、やっぱり公民館は、集まって学び合ってそれで繋がり合うという力を持っていたと思うんです。やっぱり地域課題を学び合うっていう、そこからもう始まらないといけないもんで、今は先ほど言った通り分館のなかで地域の課題を拾い集めてそれをどうやって改善していくかっていうことを学習しあう。そういうふうにはなっていくべきかなというふうに思っています。その他、独立してですね、レクリエーション活動があったり他の講演会とかそういうものが全体で集まる機会を作っていく。基本になるものはやっぱり課題についてです。地域の中で暮らしてく課題とかですね、こうした方がいいなとか、いろんなことがあると思うんです。それをやっぱり課題として認めて学びあってそれが組織的に学び合わなきゃいけないもんですから公民館の力を利用して、学び、課題を改善していくために、公民館活動として何かができる、そんなふうになっていくと自治の力として地域が生き生きしてくかなと。ただどうやればいいのかってことがなかなかわからないのですが、でも狙いとしているところはそんなところを狙いとしています。

参加者

ありがとうございます。やっぱり生活パターンがそれぞれ違いますし、新しい皆さんが山形村に越してきて、皆さん協力してくださいって言うてもなかなか集まる場所がない、さて強制で運動会やってもいいですかっていうような意見もありましたし、人集めに苦労する時代だなと思います。だからやっぱり今、教育長が言われた通り、各公民館分館の中で面白そうなものを見つけて、そこへ参加してもらえよう常会の中で何かやってもらえようようなことができればいいなと私も感じておりますので、またこれから勉強したりしていきたいと思いです。

参加者

鉢盛中学のPTAの役員として聞きたいと思いです。中学校が部活動を学校から引き離して地域移行してこれからやっていこうとしてると思うんですが、山形村として地域スポーツ、子供たちの受け入れっていうのは今後なにか考えがあるのか、スポーツだけじゃない芸術文化もありますし美術もあったり合唱も先生はいらっしゃいますけども、どうやって指導者を育てて場所はするんだ、村がやらないとなると市内まで通わなきゃいけないのかなとなるとお金に余裕がある家庭のお子さんしかスポーツができないんじゃないとか、保護者から意見が出ています。山形村の地域と

してもそれに何か対応しなければいけないんじゃないかなと思うんですけどもその辺何かお考えがあればお願いします。

村長

今、中学で話題になってる話だと思うんですけど、社会体育と言われる部分を学校が引き受けるのではなくて地域に返す、これはもう学校ではいっばいで、行政がそこまで手が回せないっていうのがやっぱり背景にあると思います。全てそうですけども行政サービスが限りなく手厚くできるという時代はこれから先、当然人口減少の時代でありますので、事業は縮小せざるを得なくなる、だけど社会保障の方は当然増えてその狭間にある話ですから、地域でできることはとにかく地域の皆さんでやっていただかないと住みよい地域自治体ってのはやっぱり実現できないと捉えております。

教育長

活動の地域移行ですけれども、国は令和8年度までに休日の部活動については、その地域に移行します。ということで今は推進期間ですよっていうことを言ってるんですが、部活動の地域移行が出てきた背景っていうのは教職員の働き方改革が背景にあって、部活動の地域移行ということができてきました。

では、その受け皿として地域の中で本当に部活動をやりたい生徒の希望全部を受けられるかって言ったら、ちょっと難しく、ある程度広域で考えていかないと、生徒の希望に添えるような部活動の展開ってのは難しいかなと思ってます。山形村はどうするのかっていうふうになるんですが、今ですねどう進めていいかわからないっていうのが現状です。

鉢盛中学校区のこともあるんですから、まずはですね松本市さんで進めている状況を見ながら、鉢盛中学校を構成する市村でこれからどうするかっていうことを研究をしていきたいというふうに思ってます。地域の中で協議会を作っても、なかなかここだけでは進展が難しいかなと思うんですから、先行している事例を参考にさせていただいて、取り組むっていうのをこれから考えていきたいと思えます。

当然そこには、教職員の先生方に兼職兼業によって講師をやってもらうそういったことも選択肢の中に入れながら研究していかなくちゃいけないと思っています。本当にちょっとどう取り組んでいいかわからないっていうのが現状です。

参加者

わかりました。行政が指導までやることではないと思います。ただ施設、場所っていうのは行政からの提供は必ず必要なもんですからそれに関しては今後どうなっていくかということは想像もつ

かないんですけど、そういった点では行政の方で動いていただきたいと思います。本当にそこまでどうやって子供たちが行くのかなどいろんな問題がこれから先出てくるのか分からないですけども、場所の提供という事はしっかり考えて頂きたいです。お願いします。

参加者

すみません。時間ですけども、もう一ついい話ですか。今度はいいい話です。

さっき分館の話がありましたけれども、約10日ほど前に上竹田区民の集いというのを分館と協力してやりました。上竹田区の名所旧跡を巡りながらの健康ウォーキングということで、チラシ1枚を区民に配りました。参加が83名で子どもさんも20数人来てくれました。分館活動に興味が無いような若い方にだいぶ来ていただきました。名所旧跡とって、新しく入った人はどこにどんなものがあるのか山形村は結構有名なものもあるんですけどもそれを巡りながらということで上竹田に住んでいても知らないことなので私が勉強して、調べて説明するように私が先頭に立ちました。そのときにたくさん来ていただきましたけれども83名ってやっぱり分館もびっくりしていました。たった1枚チラシを配っただけですけどやっぱりこういう簡単なことでも大きく広げなくても、ちょっとした何かの集まりだと関心が無いかなと思う人も来ました。戻ってきて公民館でお昼を食べて、それから分館役員が豚汁を作って、それでもてなしました。すごくみんな喜んでました。またやってほしい、知らないことを勉強できてよかったということもありますので、本当にあんまりいろんなことをやらなくても一つでも取り組んでやれば集まって、それから知らない人同士の輪も広がるんじゃないかと思います。簡単なことで結構ですから、そんなことでもいいのでちょっと考えてもらえばどうかなという提案でございます。

司会

いろいろ貴重なご意見ありがとうございます。時間も予定を迫ってまいりましたが、何かご意見ございましたらお願いいたします。

それではたくさん貴重なご意見いただきましてありがとうございます。

行政懇談会のあり方につきましてははっきり検証させていただいて、より多くの皆様のご意見いただける場をしっかりと作ってまいりたいというふうに改めて感じたところでございます。

本日十分な回答ができなかった内容もあるかと思いますが、また担当課と協議しまして、ホームページ上で本日の議事録等も含めまして皆様にご周知させていただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。